

電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
年月	表紙	平成24年6月	表紙	平成31年3月 (適用日:平成31年10月1日)
1.1. 位置づけ	1	電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】、電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】	1	電子納品運用ガイドライン【測量編】、電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】
1.2. 適用する事業	1	土木工事、建築設備工事、機械設備工事に関しては、次のガイドラインを参照してください。 ア) 土木工事 電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】 イ) 建築設備工事 電子納品運用ガイドライン(案) 建築編・建築設備編 カ) 機械設備工事 電子納品運用ガイドライン(案)【機械設備工事編】	1	土木工事、建築設備工事、機械設備工事に関しては、次のガイドラインを参照してください。 ア) 土木工事 電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】 イ) 建築設備工事 電子納品運用ガイドライン【建築編・建築設備編】 カ) 機械設備工事 電子納品運用ガイドライン【機械設備工事編】
図 1-1 本ガイドラインに係わる基準類の関係	2	地質・土質調査成果電子納品要領(案) 電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】	2	地質・土質調査成果電子納品要領 電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】
1.4. 問い合わせ	3	(2) 国土交通省「CALS/EC電子納品に関する要領・基準」Webサイト <a href="http://www.cals-ed.go.jp/">http://www.cals-ed.go.jp/</a> (3) 国土交通省「CALS/EC電子納品に関する要領・基準」に関する「Q&A」 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/q_a_index.htm">http://www.cals-ed.go.jp/q_a_index.htm</a>	3	(2) 国土交通省「電子納品に関する要領・基準」Webサイト <a href="http://www.cals-ed.go.jp/">http://www.cals-ed.go.jp/</a> (3) 国土交通省「CALS/EC電子納品に関する要領・基準」に関する「Q&A」 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/inq_qanda/">http://www.cals-ed.go.jp/inq_qanda/</a>
脚注	4	「測量成果電子納品要領(案)」「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」を指します。	4	「測量成果電子納品要領」「地質・土質調査成果電子納品要領」を指します。
脚注	7	※6 INDEX_EC.XMLは、INDE_EC05.DTDとともに電子媒体のルートに格納します。なお、国土交通省「CALS/EC電子納品に関する要領・基準」Webサイトには、DTD、XML出力例があり、ファイルが取得できません。	7	※6 INDEX_EC.XMLは、INDE_EC05.DTDとともに電子媒体のルートに格納します。なお、国土交通省電子納品Webサイトには、DTD、XML出力例があり、ファイルが取得できます。
脚注	9	CORINS	9	コリンズ
5.1. 作業の流れ 図 5-1 電子成果品作成から電子媒体納...	20	CAD データは SXF ブラウザ等により目視確認します。	20	CADデータはSXFビューア等により目視確認します。また「発注用レイヤ」が残っていないことを確認します。
5.2.1. 工事管理ファイルの作成 図 5-2 工事管理ファイル及び DTD	21	図中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm">http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm</a>	21	図中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/">http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/</a>

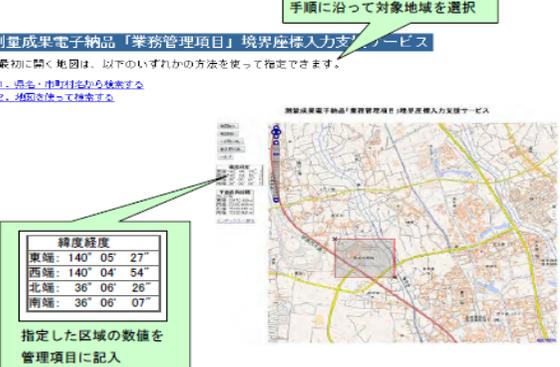
電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
5.2.2. コリنزと共通する項目の記入について	21	<p>5.2.2. CORINSと共通する項目の記入について 工事管理ファイルのCORINS に関する項目の記入については、電子納品 Web サイトの「CORINS 資料」を参照し記入します。</p> <p><a href="http://www.cals-ed.go.jp/calsec/corins.htm">http://www.cals-ed.go.jp/calsec/corins.htm</a></p>  <p>図 5-3 CORINS に関する資料ページ</p>	21	<p>5.2.2. 各コード類に関する項目の記入について 各コード類に関する項目の記入については、電子納品Webサイトを参照して記入します。</p> <p><a href="http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/">http:// www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/</a></p>
5.2.3.	22	5.2.3 発注者コードの取扱い	-	項目削除
5.2.6. 境界座標の記入について	23	<p>5.2.6. 境界座標の記入について 「境界座標」の測地系は、世界測地系（日本測地系2000）に準拠します。境界座標を入手する方法としては、国土地理院Webサイトのサービスを利用する方法があります。 「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ※14 <a href="http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html">http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html</a> を利用して境界座標を取得する方法は次のとおりです。</p>	23	<p>5.2.5. 境界座標の記入について 「境界座標」は、世界測地系（JGD2011）に準拠します。<b>ただし、境界座標を JGD2000 の測地系で取得した場合には、JGD2011 の座標に変換する必要はありません。</b>境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトの<b>以下の</b>サービスを利用する方法があります。 「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」※14 <a href="http://psgs2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html">http://psgs2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html</a> を利用して境界座標を取得できます。</p>
図 5-5 図面管理ファイル及び DTD	24	<p>図 5-5 中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm">http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm</a></p>	24	<p>図 5-4 中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/">http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/</a></p>
5.3.3 図面ファイルの命名	25	<p>ア) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とします。 イ) 格納時のファイル名は「COXX001Z.P21」～「COXXnnnZ.P21」とします。</p>	25	<p>ア) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とします。 イ) 格納時のファイル名は「COXX001Z.P21」～「COXXnnnZ.P21」とします。 ※P21形式を圧縮したP2Z形式も使用可能です。</p>
図 5-10 その他管理ファイル及び DTD	29	<p>図 5-10 中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm">http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm</a></p>	29	<p>図 5-9 中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/">http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/</a></p>

電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
その他オリジナルファイルの命名	29	イ)ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とします。なお、現在、一般的に利用されているWindows等では、拡張子に3バイト以上の文字が扱えるようになっていきます。しかし、電子媒体作成のフォーマットはISO9660レベル1と定められ、3バイト以上の文字が扱えないため、拡張子が3バイトになるように留意してください。	29	イ)ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とします。 <b>オリジナルファイルは拡張子が4文字のファイルでも拡張子そのまま格納できます。</b>
図 5-14	31	図5-14甲 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm">http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm</a>	31	図 5-13 中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/cr1_dtdxml/">http://www.cals-ed.go.jp/cr1_dtdxml/</a>
設備図書オリジナルファイルの命名	31	ア)ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。なお、現在、一般的に利用されているWindows等では、拡張子に3バイト以上の文字が扱えるようになっていきます。しかし、電子媒体作成のフォーマットはISO9660レベル1と定められ、3バイト以上の文字が扱えないため、拡張子が3バイトになるように留意してください。	31	ア)ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。 <b>オリジナルファイルは拡張子が4文字のファイルでも拡張子そのまま格納できます。</b>
5.8.1. 一般事項 脚注	33	SXF ブラウザ等※15 ※15 SXFブラウザ等とは、SXFブラウザ及び「SXF表示機能及び確認機能要件書(案)」に基づいて開発された民間のSXFビューワのことをいいます。SXFブラウザは、電子納品Webサイトから取得できます。また、民間のSXFビューワは、オープンCADフォーマット評議会(OCF)のホームページにSXF確認機能検定の機能要件が認証されたソフトウェアが公表されていますので、これを参考に入手してください。	33	<b>SXF ビューア</b> ※15 ※15 SXFビューア等とは、SXF表示機能及び確認機能要件書(案)(平成21年3月)に従って開発され、OCF検定に合格したSXF形式の図面データが閲覧可能な閲覧ソフト及びCADソフトです。オープンCADフォーマット評議会のWebサイトにあるOCF検定認証ソフト一覧(以下のURL)でSXFビューア等が紹介されています。オープンCADフォーマット評議会のWebサイトにあるOCF検定認証ソフト一覧(以下のURL)でSXFビューア等が紹介されています。 <a href="http://www.ocf.or.jp/kentei/soft_ichiran.shtml">http://www.ocf.or.jp/kentei/soft_ichiran.shtml</a> SXFブラウザが2014年4月9日をもって提供を終了したことから、今後、SXFデータの表示や印刷等は、SXFビューア等を利用してください。

電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
(3)経度・緯度のチェ	35	<p>ア)測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス  <a href="http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html">http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html</a>                      イ)地図閲覧サービス  <a href="http://watchizu.gsi.go.jp/">http://watchizu.gsi.go.jp/</a>                      「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページを利用して、経度・緯度をチェックする方法は次のとおりです。</p> 	35	<p>(3)経度・緯度のチェック                      ア)測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス  <a href="http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html">http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html</a>                      イ)地理院地図(電子国土 Web)  <a href="http://maps.gsi.go.jp/">http://maps.gsi.go.jp/</a>                      「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページを利用して、経度・緯度をチェックする方法は次のとおりです。</p> 
5.8.3. 電子媒体への格納	37	<p>使用する電子媒体は、基本的にCD-Rとします。CD-Rの容量に関する規定は特にありませんが、通常流通していない媒体(650MB、700MB以外の媒体)を使用する場合は、使用の是非を監督職員と受注者の協議により決定してください。また、電子媒体が複数に渡る場合は、発注者と受注者の協議によりDVD-Rを使用することも可能です。</p> <p>電子媒体への格納は、書込みソフト等を利用し、データを追記できない方式で書き込みます。</p> <p>なお、CD-Rのフォーマットの形式は、ISO9660(レベル1)とし、DVD-Rのフォーマットの形式はUDF(UDF Bridge)とします。</p>	37	<p>使用する電子媒体は、基本的にCD-RまたはDVD-Rとします。CD-Rの容量に関する規定は特にありませんが、通常流通していない媒体(650MB、700MB以外の媒体)を使用する場合は、使用の是非を監督職員と受注者の協議により決定してください。また、電子媒体が複数に渡る場合は、発注者と受注者の協議によりDVD-Rを使用することも可能です。</p> <p>電子媒体への格納は、書込みソフト等を利用し、データを追記できない方式で書き込みます。</p> <p>なお、CD-Rのフォーマットの形式は、<b>Joliet</b>とし、DVD-Rのフォーマットの形式はUDF(UDF Bridge)とします。</p>

電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
5.8.5 電子媒体等の表記	38	5.8.5. 電子媒体等の表記 (1) 電子媒体のラベル面の表記 か) 「フォーマット形式」 CD-R の場合は、フォーマット形式・ISO9660 (レベル 1) を明記。DVD-R の場合は、UDF (UDF Bridge) を明記	38	5.8.5. <b>電子媒体のラベル面の表記</b> か) 「フォーマット形式」 CD-R の場合は、フォーマット形式・ <b>Joliet</b> を明記。DVD-R の場合は、UDF (UDF Bridge) を明記
(2) 電子媒体ケースの表記	39	(2) 電子媒体ケースの表記	-	左記項目削除
図 5-24 電子媒体納品書 (例)	41	図 5-24 電子媒体納品書 (例) ISO9660 (レベル1)	41	図 5-22 電子媒体納品書 (例) <b>Joliet</b>
5.9.4. 電子成果品の内容の確認	42	(1) 図面【DRAWING】 SXF (P21) 形式	42	(2) 図面【DRAWING】 SXF (P21) 形式もしくは <b>SXF (P2Z) 形式</b>
5.9.4. 電子成果品の内容の確認	42	SXFブラウザ等	42	<b>SXFビューア等</b>
6.2.1 写真ファイル等の作成	45	黒板の文字が判読できる100万画素程度	45	黒板の文字が判読できる <b>100万～300万</b> 画素程度
図 6-2 写真管理ファイル及び DTD	47	図6-2中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm">http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm</a>	47	図6-2中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/">http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/</a>
6.3. 工事写真(電子)の電子媒体への格納	50	電子媒体及びケースの表記は、「5.8.5. 電子媒体の表記」に準じて作成し、	50	<b>電子媒体の表記は、「5.8.5. 電子媒体のラベル面の表記」に準じて作成し、</b>
図 7-1 施工計画書管理ファイル及び DTD	52	図7-2中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm">http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm</a>	52	図7-2中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/">http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/</a>
7.1.3. 施工計画書オリジナルファイルの命名	52	ア) ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。なお、現在、一般的に利用されているWindows等では、拡張子に3バイト以上の文字が扱えるようになっています。しかし、電子媒体作成のフォーマットは、ISO9660レベル1と定められ、3バイト以上の文字が扱えないため、拡張子が3バイトになるように留意してください。	52	ア) ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。 <b>オリジナルファイルは拡張子が4文字のファイルでも拡張子はそのまま格納できます。</b>
図 7-6 打合せ簿管理ファイル及び DTD	55	図7-6中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm">http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm</a>	55	図7-6中 <a href="http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/">http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/</a>

電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
7.3.3 打合せ簿オリジナルファイルの命名	55	ア)ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。なお、現在、一般的に利用されているWindows等では、拡張子に3バイト以上の文字が扱えるようになっています。しかし、電子媒体作成のフォーマットはISO9660レベル1と定められ、3バイト以上の文字が扱えないため、拡張子が3バイトになるように留意してください。	55	ア)ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。 <b>オリジナルファイルは拡張子が4文字のファイルでもそのまま格納できます。</b>
7.4. 工事帳票の電子媒体への格納	55	電子媒体及びケースの表記は、「5.8.5.電子媒体の表記」に準じて作成し、「電子媒体の内容」には、「工事帳票」と記載します。	55	<b>電子媒体の表記は</b> 、「5.8.5.電子媒体の <b>ラベル面</b> の表記」に準じて作成し、「電子媒体の内容」には、「工事帳票」と記載します
10.3.用語解説	65	CORINS (コリンズ、Construction Records Information Service) 「工事実績情報サービス」の略称です。CORINS は、公共事業の入札・契約において、透明性・客観性・競争性を確保することを目的に、公共事業発注機関が共同で利用できる公共実績情報サービスです。(財)日本建設情報総合センターが公益法人という立場で、建設企業からの工事カルテの登録を基に工事実績情報のデータベースを構築し、各公共工事発注機関へ情報提供を行っています。CORINS からの情報提供により、発注者は、建設企業の工事実績の把握及び技術力の適正な評価を行うことができます。また、受注者にとっても、自社の工事実績情報が公共工事発注機関に届きますので、営業支援の役割を果たします。	69	<b>コリンズ (Construction Records Information System) コリンズ</b> は、公共事業の入札・契約において、透明性・客観性・競争性を確保することを目的に、公共事業発注機関が共同で利用できる <b>工事実績情報システム</b> です。 <b>(一財)日本建設情報総合センターが公益法人</b> という立場で、建設企業からの工事カルテの登録を基に工事実績情報のデータベースを構築し、各公共工事発注機関へ情報提供を行っています。
10.3.用語解説	66	ISO9660 フォーマット ISO で規定される CD-R 等での標準的なフォーマットのひとつです。  特定の OS (オペレーティングシステム)、ハードウェアに依存しないため、このフォーマットの CD-R は、ほとんどの PC の OS 上で読み込むことができます。 ISO9660 フォーマットにはレベル 1 からレベル 3 までの段階があり、電子納品に関する要領・基準では、長期的な保存という観点から、ISO9660 フォーマットの中でも OS 間での互換性が最も高い「レベル 1」を標準としています。ただし、レベル 1 の場合、ファイル名等の規則は厳しく、「名前+拡張子」の 8.3 形式のファイル名で、使える文字は半角アルファベットと 0~9 の数字、「_」(アンダースコア)に限られ、ディレクトリ名は 8 文字までの制限があります。	66	ISO9660 フォーマット ISO で規定される CD-R 等での標準的なフォーマットのひとつです。  特定の OS (オペレーティングシステム)、ハードウェアに依存しないため、このフォーマットの CD-R は、ほとんどの PC の OS 上で読み込むことができます。 ISO9660 フォーマットにはレベル 1 からレベル 3 までの段階があり、電子納品に関する要領・基準では、長期的な保存という観点から、ISO9660 フォーマットの中でも OS 間での互換性が最も高い「レベル 1」を標準として <b>いました</b> 。ただし、レベル 1 の場合、ファイル名等の規則は厳しく、「名前+拡張子」の 8.3 形式のファイル名で、使える文字は半角アルファベットと 0~9 の数字、「_」(アンダースコア)に限られ、 <b>ディレクトリ名は 8 文字までの制限があり、ワープロソフト等で一般的になった 4 文字の拡張子に対応できないため、Joliet に移行しました。</b>

電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
10.3. 用語解説			66	Joliet (ジョリエット) マイクロソフト社が設計した、ISO9660 の拡張規格であり、1 文字 2 バイトで表現する Unicode を採用し、128 バイト (64 文字) までの長いファイル名に対応しています。流通しているほとんどの OS が対応しており、Joliet を利用できないシステムでも ISO 9660 レベル 1 として読み込めるようになっていたことから、ワープロソフト等で一般的になった 4 文字 の拡張子に対応するため、電子納品に関する要領・基準での 標準として採用しました。
10.3. 用語解説 <新規追加>			68	<b>OCF 検定</b> OCF 検定は、(一社)オープン CAD フォーマット協議会が実施する、CAD ソフトウェアやビューアの SXF 仕様への準拠性を 検定するものです。この検定に合格した CAD ソフトウェアやビューアは、SXF データの互換について一定の基準が満たされていることから、目視確認等において、OCF 検定合格のビューア等を使用することとしています。検定内容の詳細については(一社)オープン CAD フォーマット協議会のホームページを参照してください。 <a href="http://www.ocf.or.jp/">http://www.ocf.or.jp/</a>
10.3. 用語解説	66	SXF P21ファイルは国際規格であるISO10303/202に則った形式 であるため、自由なデータ交換が可能となるように、描画要素に特化したフィーチャから構成されるデータ構造をもっています。SFCファイルはフィーチャコメントと呼ばれる国内 だけで利用できるローカルなデータ構造を持っています。データ構造の違いからP21ファイルはSFCファイルに比べデータ容量が大きくなります。	67	SXF P21 ファイルは国際規格である ISO10303/202 に則った形式 であるため、自由なデータ交換が可能となるように、描画要素に特化したフィーチャから構成されるデータ構造をもっています。SFC ファイルはフィーチャコメントと呼ばれる国内 だけで利用できるローカルなデータ構造を持っています。データ構造の違いから P21 ファイルはSFC ファイルに比べデータ容量が大きくなります。 また、P21 形式の ZIP による圧縮形式である P2Z 形式、SFC 形式の ZIP による圧縮形式である SFZ 形式があります。

電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
10. 3. 用語解説	67	<p>SXF ブラウザ</p> <p>SXF 対応CAD ソフトによって作成されたSXF 形式 (P21、SFC) の図面データを表示・印刷するためのソフトウェアで次のURL でダウンロードすることのできる無償提供のツールです。CAD ソフトと違い、編集の機能はありません。SXF ブラウザは、電子納品Web サイトからダウンロードすることができません。</p> <p><a href="http://www.cals-ed.go.jp/index_dl2.htm">http://www.cals-ed.go.jp/index_dl2.htm</a></p> <p>また、CAD データ交換標準開発のWeb サイトからも上記サイトにリンクが張られています。</p> <p><a href="http://www.cals.jacic.or.jp/cad/developer/SXFBrowserDownload.htm">http://www.cals.jacic.or.jp/cad/developer/SXFBrowserDownload.htm</a></p>	67	<p>SXF ビューア等</p> <p>SXF ビューア等は、SXF 表示機能及び確認機能要件書(案) (平成 21 年 3 月) に従って開発され、OCF 検定に合格した SXF 形式 (P21、SFC) 図面データが閲覧可能な閲覧ソフト及びCAD ソフトです。オープン CAD フォーマット評議会の Web サイトにある OCF 検定認証ソフト一覧 (以下の URL) で市販の SXF ビューア等が紹介されています。</p> <p><a href="http://www.ocf.or.jp/kentei/soft_ichiran.shtml">http://www.ocf.or.jp/kentei/soft_ichiran.shtml</a></p> <p>SXF ブラウザが 2014 年 4 月 9 日をもって提供を終了したことから、今後、SXF データの表示や印刷等は、SXF ビューア等を利用してください。</p>
10. 3. 用語解説	67	<p>TECRIS (テクリス、Technical Consulting Records Information Service)</p> <p>「測量調査設計業務実績情報サービス」の略称です。TECRIS は、コンサルタント企業等の選定において手続きの透明性・客観性、競争性をより高めつつ、技術的に信頼のおける企業を選定するための業務実績情報サービスです。(財) 日本建設情報総合センターが公益法人という立場で、コンサルタント企業等からの業務カルテの登録を基に業務実績情報のデータベースを構築し、各業務発注機関へ情報提供を行っています。</p> <p>TECRIS からの情報提供により、発注者は、建設企業及び技術者の業務実績の把握及び技術力の適正な評価を行うことができます。また、受注者にとっても、自社の業務実績情報が公共工事発注機関に届きますので、営業支援の役割を果たします。</p>	71	<p>テクリス (Technical Consulting Records Information System)</p> <p>テクリスは、コンサルタント企業等の選定において手続きの透明性・客観性、競争性をより高めつつ、技術的に信頼のおける企業を選定するための業務実績情報システムです。(一財) 日本建設情報総合センターが公益法人という立場で、コンサルタント企業等からの業務カルテの登録を基に業務実績情報のデータベースを構築し、各業務発注機関へ情報提供を行っています。</p>
10. 3. 用語解説	70	<p>・日本測地系 2000</p> <p>日本測地系2000 とは、世界測地系のうち我が国が構築した部分の名称をいいます。命名に当たっては、我が国の測地基準系であること、二千年紀の初頭に構築されたことを意識しています。</p>	70	<p>・世界測地系 (JGD2000) と世界測地系 (JGD2011)</p> <p>世界測地系 (JGD2000) とは、世界測地系のうち我が国が構築した部分の名称をいいます。命名に当たっては、我が国の測地基準系であること、二千年紀の初頭に構築されたことを意識しています。世界測地系に移行した 2002 年 4 月から 2011 年 10 月までの日本の公式測地系でした。</p> <p>世界測地系 (JGD2011) とは、東北地方太平洋沖地震による地殻変動で、測量法施行令が 2011 年 10 月に改正されたことに伴って命名された測地基準系の名称です。</p>